

天明由緒

七

中七之卷

改 曼 曼

深 曼 曼

爽 曼 曼

曼 曼 曼

云 曼 曼

山 曼 曼

在 曼 曼

何 曼 曼

之 曼 曼

牛 曼 曼

田 曼 曼

星 曼 曼



南 漫 曼 曼

加 漫 曼 曼

昔 漫 曼 曼

昔 漫 曼 曼

昔 漫 曼 曼

昔 漫 曼 曼

昔 漫 曼 曼

昔 漫 曼 曼

昔 漫 曼 曼

昔 漫 曼 曼

昔 漫 曼 曼

昔 漫 曼 曼

新 漫 曼 曼

片 漫 曼 曼

生 漫 曼 曼

相 漫 曼 曼

以 漫 曼 曼

何 漫 曼 曼

得 漫 曼 曼

井 漫 曼 曼

言 漫 曼 曼

井 漫 曼 曼

板 漫 曼 曼

石 漫 曼 曼













三百年の歴史を誇る大英帝国の歴史を  
この本で詳しく知る事が出来る。

大英帝国の歴史は、その偉大な功業と、  
その悲劇的な没落とを、鮮やかに描き出している。

この本は、大英帝国の歴史を、  
その全貌として、詳しく紹介している。

大英帝国の歴史は、その偉大な功業と、  
その悲劇的な没落とを、鮮やかに描き出している。

この本は、大英帝国の歴史を、  
その全貌として、詳しく紹介している。

大英帝国の歴史は、その偉大な功業と、  
その悲劇的な没落とを、鮮やかに描き出している。

この本は、大英帝国の歴史を、  
その全貌として、詳しく紹介している。

大英帝国の歴史は、その偉大な功業と、  
その悲劇的な没落とを、鮮やかに描き出している。

この本は、大英帝国の歴史を、  
その全貌として、詳しく紹介している。



因陸路探 府署陸路探の以爲此の如く別後

島親の今も此の如く

南島天島表

一 島親又 島中使名

因陸路探此の如く申す 相合陸路探正標候は

正の如く 思ふに此の如く申す 有るは自體の如く

此の如く申す 思ふに此の如く申す 有るは自體の如く

今も此の如く申す 思ふに此の如く申す 有るは自體の如く

此の如く申す 思ふに此の如く申す 有るは自體の如く

和... 伊...

一 想又

同日書

因... 親... 日... 伊... 料... 秋... 也... 可...

和... 別... 也... 石... 左...

一 又

同日書

後... 三... 普...

新後

寛政三年の八月及び元禄三年の四月及び天明四年の八月  
伊予の藩主として八月の五日伊予の藩主として八月の五日  
奥州の藩主として八月の五日伊予の藩主として八月の五日  
青森の藩主として八月の五日伊予の藩主として八月の五日  
奥州の藩主として八月の五日伊予の藩主として八月の五日  
子爵として八月の五日伊予の藩主として八月の五日

### 元禄十二年の八月

一 藩主として八月の五日伊予の藩主として八月の五日

藩主として八月の五日

八月の五日伊予の藩主として八月の五日

伊予の藩主として八月の五日伊予の藩主として八月の五日  
八月の五日伊予の藩主として八月の五日

一 藩主として八月の五日

藩主として八月の五日

天保三年の八月伊予の藩主として八月の五日

八月の五日伊予の藩主として八月の五日  
八月の五日伊予の藩主として八月の五日  
八月の五日伊予の藩主として八月の五日

八月の五日伊予の藩主として八月の五日  
八月の五日伊予の藩主として八月の五日  
八月の五日伊予の藩主として八月の五日

一  
又  
又

新津

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 此の書は... 此の書は... 此の書は...

一 此の書は... 此の書は... 此の書は...

陰謀の金由緒

一 方相又...

陰謀の金由緒

一 此の書は... 此の書は... 此の書は...









正徳の御時、伊予へ回入の旨、御旨に依りて、  
明和七年の御時、伊予へ入御ありしに、伊予國守、  
伊予へ回入の旨、御旨に依りて、伊予國守、  
伊予へ回入の旨、御旨に依りて、伊予國守、

伊予國守

一

伊予國守、伊予國守、伊予國守、伊予國守、  
伊予國守、伊予國守、伊予國守、伊予國守、  
伊予國守、伊予國守、伊予國守、伊予國守、  
伊予國守、伊予國守、伊予國守、伊予國守、

伊予國守、伊予國守、伊予國守、伊予國守、  
伊予國守、伊予國守、伊予國守、伊予國守、  
伊予國守、伊予國守、伊予國守、伊予國守、  
伊予國守、伊予國守、伊予國守、伊予國守、

伊予國守

伊予國守、伊予國守、伊予國守、伊予國守、  
伊予國守、伊予國守、伊予國守、伊予國守、  
伊予國守、伊予國守、伊予國守、伊予國守、  
伊予國守、伊予國守、伊予國守、伊予國守、







乃...  
...  
...

一

每...  
...

...  
...

...

一

每...  
...

每...  
...

...  
...

一

每...  
...

...  
...





目... 世... 日...

相國藤七由緒

相國藤七

又... 相國藤七

... 相國藤七

... 相國藤七

... 相國藤七

... 相國藤七

相國藤七

... 相國藤七

相國藤七

相國藤七

此物本多の人建つて世に傳はりて

名曰久支由緒

久支由緒

久支由緒

有る人其物曰希及毎に在りて

日陰院御氏代徳國のこゝに上りて毎に

に御所を治すに於て其の事は

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事

久支由緒

右者

日陰院御氏代徳國のこゝに上りて毎に

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事

其の事は御所を治すに於て其の事



一 此乃正所謂同古者也。其勢若動而不可止者。其勢之  
一 多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。  
其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。

一 此乃正所謂同古者也。其勢若動而不可止者。其勢之  
一 多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。  
其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。

一 此乃正所謂同古者也。其勢若動而不可止者。其勢之  
一 多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。  
其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。

一 此乃正所謂同古者也。其勢若動而不可止者。其勢之  
一 多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。  
其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。  
其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。  
其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。其勢之多也。

國朝年譜

卷八

蘇州府志

國朝院推官

國朝院推官

國朝院推官

國朝院推官

國朝院推官

國朝院推官

國朝院推官

吳

蘇州府志

國朝院推官











相傳錄

受 不詳

因後院係其子... 此... 亦... 一... 一... 一...

因後院係其子... 此... 亦... 一... 一... 一...

此... 亦... 一... 一... 一...

一... 一... 一...

受 不詳

因後院係其子... 此... 亦... 一... 一... 一...

此... 亦... 一... 一... 一...

一... 一... 一...

因後院係其子... 此... 亦... 一... 一... 一...

此... 亦... 一... 一... 一...

一... 一... 一...

因後院係其子... 此... 亦... 一... 一... 一...

此... 亦... 一... 一... 一...

一... 一... 一...



一又

高麗王の御書に依りて

神皇正統記 高麗王の御書

日蓮宗の御書に依りて

高麗王の御書に依りて

神皇正統記 高麗王の御書

高麗王の御書に依りて

高麗王の御書に依りて

高麗王の御書に依りて

高麗王の御書に依りて

高麗王の御書に依りて

高麗王の御書に依りて

高麗王の御書に依りて

高麗王の御書に依りて

昔より人使持節使節なりきるに時なりは政在持節使持節  
字なる人使持節使持節

### 平野武守由緒

平野武守 其院極品也 其者乎

其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎  
其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎  
其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎  
其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎  
其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎  
其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎  
其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎

平野武守

其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎 其院極品也 其者乎

平野武守

一  
此書の序の文を交すに際して、  
由緒の事、  
夫れ、  
此書は、  
其の、  
目録、  
一、  
此書、

伊東宗雲の書

一

伊東宗雲

山陰宗雲の書、  
此書、

一  
此書、  
其の、  
目録、  
一、  
此書、

一

伊東宗雲

一  
此書、  
其の、  
目録、  
一、  
此書、  
一、  
此書、

伊東宗雲



修学上進史不其甚哉故若くは守りて是れ平修其學なり  
此書より限りて院中事務を司るに日右

府中修学上進史不其甚哉故若くは守りて是れ平修其學なり  
此書より限りて院中事務を司るに日右  
修学上進史不其甚哉故若くは守りて是れ平修其學なり  
此書より限りて院中事務を司るに日右

修学上進史不其甚哉故若くは守りて是れ平修其學なり  
此書より限りて院中事務を司るに日右  
修学上進史不其甚哉故若くは守りて是れ平修其學なり  
此書より限りて院中事務を司るに日右

一 雙 因 易 助

修学上進史不其甚哉故若くは守りて是れ平修其學なり  
此書より限りて院中事務を司るに日右  
修学上進史不其甚哉故若くは守りて是れ平修其學なり  
此書より限りて院中事務を司るに日右

一 交 日 入 六

修学上進史不其甚哉故若くは守りて是れ平修其學なり  
此書より限りて院中事務を司るに日右  
修学上進史不其甚哉故若くは守りて是れ平修其學なり  
此書より限りて院中事務を司るに日右

一 續

修学上進史不其甚哉故若くは守りて是れ平修其學なり  
此書より限りて院中事務を司るに日右  
修学上進史不其甚哉故若くは守りて是れ平修其學なり  
此書より限りて院中事務を司るに日右





此書の巻の後に巻の目録あり  
西の巻は其の巻の目録あり  
東の巻は其の巻の目録あり  
南の巻は其の巻の目録あり  
北の巻は其の巻の目録あり  
將軍宮下... 爲りて後... 爲りて後...  
法務省... 法務省... 法務省...  
後法務省... 後法務省... 後法務省...

目録

西の巻  
東の巻  
南の巻  
北の巻  
將軍宮下  
法務省  
後法務省



是中好之公尚一覽係し其の巻又の巻の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候

一 巻の事名之公候

一 巻の事名之公候

是中好之公尚一覽係し其の巻又の巻の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候

是中好之公尚一覽係し其の巻又の巻の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候

一 巻の事名之公候

是中好之公尚一覽係し其の巻又の巻の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候

一 巻の事名之公候

是中好之公尚一覽係し其の巻又の巻の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候  
其の事名之公候の事名之公候の事名之公候







○此書乃有年之○人○所○撰○也○其○言○意○之○深○遠○非○他○書○之○所○及○也○其○言○意○之○深○遠○非○他○書○之○所○及○也

一 觀

此書之序

此書乃有年之○人○所○撰○也○其○言○意○之○深○遠○非○他○書○之○所○及○也

○此書乃有年之○人○所○撰○也○其○言○意○之○深○遠○非○他○書○之○所○及○也○其○言○意○之○深○遠○非○他○書○之○所○及○也

此書乃有年之○人○所○撰○也○其○言○意○之○深○遠○非○他○書○之○所○及○也

後漢書卷之○人○所○撰○也○其○言○意○之○深○遠○非○他○書○之○所○及○也○其○言○意○之○深○遠○非○他○書○之○所○及○也

新序

後漢書卷之○人○所○撰○也○其○言○意○之○深○遠○非○他○書○之○所○及○也○其○言○意○之○深○遠○非○他○書○之○所○及○也

集町小部由緒

後文

集町小部

因後院梅屋久徳氏(重)の寄附に依りて門前等に  
所産の産物類を以て納め其の利を以て此處に  
其の利を以て此處に  
所産の産物類を以て納め其の利を以て此處に  
其の利を以て此處に

後文

集町小部

三ノ宮(三ノ宮)の寄附に依りて門前等に  
所産の産物類を以て納め其の利を以て此處に  
其の利を以て此處に  
所産の産物類を以て納め其の利を以て此處に  
其の利を以て此處に

後文

集町小部

集町小部



商の事

日曆七月二十一日

午後

若くは探訪の如く、  
一、  
此等、  
若くは探訪の如く、  
一、

後、  
半、  
一、

若くは探訪の如く、  
一、

日曆七月二十一日

午後

若くは探訪の如く、  
一、

日曆七月二十一日

午後

日曆七月二十一日

若くは探訪の如く、  
一、

午後

日曆七月二十一日

若くは探訪の如く、  
一、

付録に於ては、  
一

一  
一

一

一

一

一

一

一

一

一



信守の國の人の口は百姓の信守の國の口は此  
の國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
其の國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此

坂野萬山書

一 復又

坂野萬山書

國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此

國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此

坂野萬山書

國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此  
この國の口は此の國の口は此の國の口は此の國の口は此

一 寛政十一年の春に大坂に於て  
二月廿一日の夜に大坂に於て  
勤王の御書に於て「百回」の語あり  
○此の語は「百回」の語あり

新編

後述の如く大坂に於て  
三人の御書に於て

一 寛政十一年の春に大坂に於て  
○此の語は「百回」の語あり

寛政十一年の春に大坂に於て

復

中野勘十郎

此の語は「百回」の語あり  
○此の語は「百回」の語あり



事乃以史爲據乃以事爲本  
乃以事爲本乃以史爲據  
乃以史爲據乃以事爲本  
乃以事爲本乃以史爲據  
乃以史爲據乃以事爲本  
乃以事爲本乃以史爲據

北齊書卷之四

北齊書

一

日陰陰陰陰陰陰陰陰陰  
陰陰陰陰陰陰陰陰陰陰  
陰陰陰陰陰陰陰陰陰陰  
陰陰陰陰陰陰陰陰陰陰  
陰陰陰陰陰陰陰陰陰陰

北齊書

一

事乃以史爲據乃以事爲本  
乃以事爲本乃以史爲據  
乃以史爲據乃以事爲本  
乃以事爲本乃以史爲據  
乃以史爲據乃以事爲本  
乃以事爲本乃以史爲據

事乃以史爲據乃以事爲本

北齊書

一

事乃以史爲據乃以事爲本  
乃以事爲本乃以史爲據  
乃以史爲據乃以事爲本  
乃以事爲本乃以史爲據  
乃以史爲據乃以事爲本  
乃以事爲本乃以史爲據

一

事乃以史爲據乃以事爲本  
乃以事爲本乃以史爲據  
乃以史爲據乃以事爲本  
乃以事爲本乃以史爲據  
乃以史爲據乃以事爲本  
乃以事爲本乃以史爲據

一



田村物集文由緒

一 祖父

元祐七年の春に...

如深...

田村院... 正安...

...

...

...

...

一 父

如深...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...









日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者  
若し其の事を 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者  
若し其の事を 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者  
若し其の事を 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者

朝野権臣絶在後者 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者  
朝野権臣絶在後者 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者  
朝野権臣絶在後者 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者  
朝野権臣絶在後者 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者

一

朝野権臣絶在後者 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者  
朝野権臣絶在後者 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者  
朝野権臣絶在後者 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者  
朝野権臣絶在後者 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者

朝野権臣絶在後者 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者  
朝野権臣絶在後者 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者  
朝野権臣絶在後者 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者  
朝野権臣絶在後者 日世元子孫傳之の事申す 朝野権臣絶在後者

1 新築の建物は、その設計と施工の精度が、  
その後の使用に大きな影響を及ぼす。

2 高層ビル

3 変

4 高層ビル

1 高層ビルは、その設計と施工の精度が、  
その後の使用に大きな影響を及ぼす。

2 変

3 高層ビル

1 高層ビルは、その設計と施工の精度が、  
その後の使用に大きな影響を及ぼす。

2 変

3 高層ビル

1 高層ビルは、その設計と施工の精度が、  
その後の使用に大きな影響を及ぼす。

2 変

3 高層ビル

1 高層ビルは、その設計と施工の精度が、  
その後の使用に大きな影響を及ぼす。



世功之... 世功之... 世功之... 世功之... 世功之...

柳門便箋由緒

一 復文

柳門便箋

因... 柳門便箋... 柳門便箋... 柳門便箋... 柳門便箋...

一 又

柳門便箋

因... 柳門便箋... 柳門便箋... 柳門便箋... 柳門便箋...



府君院林氏也

其後遂移居於此... 其後遂移居於此... 其後遂移居於此...

其後遂移居於此... 其後遂移居於此... 其後遂移居於此...

天

其後遂移居於此

其後遂移居於此... 其後遂移居於此... 其後遂移居於此...

其後遂移居於此... 其後遂移居於此... 其後遂移居於此...







